プリンセス 小公女セーラ

第12話

『屋根裏部屋へ』

AR台本

企画 制作 日本アニメーション株式会社

プリンセス
小公女セーラ

第十二話『屋根裏部屋へ』

登場人物

セーラ……………島本須美
ミンチン…………中西妙子
アメリア…………梨羽由記子
ピーター…………坂本千夏
ベッキー…………鈴木三枝

アーメンガード……八百板万紀
ロッティ……渡辺菜生子
ラビニア……山田栄子
ジェシー……飯塚はるみ
ガートルート……佐々木るん
バロー……藤本譲
ジェームス……郷里大輔

カメラ	画面		音声
A	この憎らしい小娘をどうしたものかと黙ってセーラをにらんでいたが、やがて手をのばすミンチン		
B	花の冠をつかみ床にたたきつける		ミンチン「セーラ！」
C	床にとびちる花冠		
D	ミンチン、セーラを見下ろして		ミンチン「あなたはもう、ダイヤモンドプリンセスなんかじゃ〜
E	茫然と見上げるセーラ		(off) ありません！……学校を出て行くんです！」
F	見守るラヴィニアたち		
G	ミンチンたちの脇を走り抜けドアに向かうセーラとび出すセーラ		S・E（ガチャ）

H	大声で泣き出すロッティ	ロッティ(off)「ウワーン～」
I	階段を駆け昇るセーラ FOLLOW↗	
J	二階から三階へ向かうセーラ	
K	三階 画面手前へ駆けてくるセーラ 部屋に入ろうとする	
L	セーラ、フト写真に眼をとめ 写真をとりあげる	
M	写真のUP セーラ、つぶやくように	セーラ(off)「……お父様が……」
N	涙がにじむセーラの表情	セーラ「お父様が亡くなったなんて……」
O	左手をベッドについて、体を左にひねってうなだれる	

	ややあって、エミリーを見て、写真を手離して抱き寄せる		セーラ「う〜〜〜ん」
P	セーラ、泪が溢れ出てくる 涙声のセーラ		セーラ「エミリー……聞いて……お父様が……お父様が……私、そんな事信じられない……いいえ、信じたくない……」
1	わいわいがやがやとしている生徒を前にミンチン、アメリア ミンチン動く→		
2	床におちたヘアバンド、スカートに引っかかり　ころがる　止るスカート　散っているパール		
3	ミンチン　ジェームスとモーリーに		ミンチン「モリー　ジェームス……あの娘の為に開かされた、この馬鹿馬鹿しい 〜 誕生パーティは、中止する事にしました。
4	ミンチン		〜 すぐに、ここを片付けるように……」
5	唖然と顔見合せるジェームスとモーリー		(off) ジェームス「は、はい、院長先生……」

6	騒然となる生徒たち	生徒の声（アドリブ）「折角開いたのに……」「楽しいパーティだったのにねェ」
7	騒ぐ生徒たちに向って決めつけると、足早に出て行く　慌てて追うアメリア　顔を見合せたりして軽く生徒達	ミンチン「騒ぐんじゃありません！　あなた方は自室へ戻って！　判りましたね！」 アメリア「お姉様！……」 生徒達「（ざわめき）」
8	泣くロッティ　涙をこぼすアーメンガードの前を次々と通りすぎる生徒たち　アーメンガードロッティを見てしゃがみこんでロッティを抱きしめて	ロッティ「やだよ、やだよ……　セーラ、ママが追い出されるなんてやだァ……」 アーメンガード「泣かないで、ロッティ…… 私だって……　私だって…… ～ どうすればいいのか……　わかんないの……」
9	手前の机の上にロッティのプレゼントの仔馬	
10	ラヴィニア、振り返りニヤリとする	
11	う～となる二人	ガートルート「ねェ、このプレゼントどうする？」 ジェシー「そうね、今更セーラにわたす訳にもねえ……」

	にやりと、ジェシー　ガートルートを見る　口許に笑いが浮んでくるラヴィニア　あるき出す
12	ニヤリとするラヴィニア
13	三階の階段を昇って来るバローとミンチン 昇り切ってふり向くバロー　立ち止るミンチン
14	バロー　歩き出す
15	バローin

ラヴィニア「フフフ……来月までとっておけば
いいのよ……」
二　人「エッ?!」
ジェシー「ああ、そうか……来月はラヴィニア
のお誕生日よ」

〜〜〜

バロー「では、父親の件は、すべてあの娘に
伝えて貰えた訳ですな」
ミンチン「勿論ですとも!……　あの娘が自分
の部屋に逃げ込んだりしなければ、も
っと手厳しく云ってやる所でしたわ」
バロー「結構、結構……お陰で私の方も
〜
次の手続きがとりやすくなりますわい」
ミンチン「次の手続きですって?」
バロー「ミンチンさん、私は、死んだクルー
の
〜
ロンドンでの代理人ですぞ……　残さ
れた財産、つまり
〜

16	唖然となるミンチン		(off) あの娘の持物全部を処分する手続きが必要なんです」
17	続けるバロー		バロー「先日お話した通り、私は、破産したクルーに莫大な投資をしておった。つまり、私は債権者として
18	身をのり出すミンチン		(off) クルーの財産、あの娘の持物を没収する法律上の権利がある」 ミンチン「そ、そんな……」
19	クルリとふり向いてドアの方に向う		バロー「では財産を確認させて貰いますぞ」
20	ドアをノックするバロー		
21	寝室　ハッと顔上げるセーラ		S・E（ノックの音）
22	ハッとなるセーラ		バロー(off)「おい、セーラ、あけなさい」
23	ドアに向っていたバロー　いまいましげに　ミンチンを振返る		バロー「セーラ……　チッ、あの娘（むすめ）、手間をかけさせおって……　合鍵をお持ちですな」

24	口惜しそうに鍵を出して渡す		ミンチン「え、ええ……」
25	立上るセーラ、涙を指先で拭う		
26	入ってくるミンチン　バロー		
27	寝室より出てくるセーラ　エミリをだいて		
28	立止って　バローとミンチン		バロー「ほほう……　メソメソ泣いとるかと思ったが〜
29	無言で二人を見返すセーラ		(off)　そうでもなかったな」
30	バロー　しばらく　セーラを見ていたが		バロー「お前が、どんなに不倖せな事になったか、院長先生から聞いとる筈だな」
31	微かに頷くセーラ		
32	セーラから視線を部屋のあちこちに移し		バロー「よろしい……私は、死んだお前の父親に大金を貸しとったんだ。そこで、その貸金の代りに、お前の持物全部を引上げさせて貰う事に、院長先生と決

			めたんだよ」
33	じっと聞くセーラ		
34	ミンチン　バローに云いかけようと前に出て……		ミンチン「あ、あの……」
35	本棚を眺めているバロー　ちらりと振り返り、ミンチンをにらんで鼻であしらうように元に顔を戻して本箱を見て		バロー「どうです、ミンチンさん……たかが子供に、こんな高そうな本ばかり買い与えるとは～
36	じっとしているセーラ		off 親馬鹿にも～
37	部屋をあるきまわる		程があるってものですよ、まったく…～
38	ミンチン、バローを追って　顔の向き変る		～～～～～～
40	乱暴に安楽椅子を突き動かす		それに、この安楽椅子……～
41	セーラ		あのぜい沢な勉強机……～

42	勉強机（設定あり）		(off) 椅子と〜
43	バローを眼で追う		〜テーブルに、ソファ……　それに、ジュータン……」
44	部屋を眺めながらあるくバロー 絵を値ぶみするように眺める バロー　サインをのぞきこむ		
45	ミンチン、振り返り　にらみつけるような表情で		ミンチン「バローさん！　その絵は当学校の備品でございます」
46	あせる　バロー		バロー「ン?!……いや……　なかなか結構な絵だと思いましてな……エヘン……さぞかし名のある作家の作品でしょうな、ハハハハハ………」
47	厳しく見つめるミンチン		〜〜〜
48	バロー、　声の方を見てあるき始める		バロー「いや、別に私は……学校の備品までどうこうしようとか……」 ボナパルト(off)「セーラ　セーラ」

No.	画面		台詞
49			ボナパルト「セーラ　セーラ」
50	のぞきこむバロー		ボナパルト「セーラ　セーラ」 バロー「やれやれ、こいつも処分せねばなりませんな」
51	身をのり出して		セーラ「それは……ボナパルトは、お父様と一緒に、インドから連れて来たオウムなんです！」
52	中腰から立上って		ボナパルト「セーラ　セーラ」 バロー「フン、そんな名前しか喋れんような馬鹿鳥では 〜 安くしか売れんだろうが……」
53	セーラの傍に行き、手でセーラを押しやって寝室の方へ行くバロー		セーラ「ボナパルトをどうなさるんですか！」
54	よろめくセーラ　キッとなってバロー見返る		ボナパルト「（のどかに）セーラ……　セーラ」
55	寝室へ入っていくバロー（セー		

	ラの見た目）		
56	衣裳戸棚を引開けるバロー　ミンチン　セーラを見ながら入って来てバローの方に眼を移す		
57	吊られている美しい服　服　服 バロー　摑み出す　摑んだ服を乱暴に投げ込むと　扉をバタンと閉めてドレッサーの方へ向う		バロー「フン、こんなゼイ沢な服を沢山作りおって！」
58	バローを見つめる二人		バローの声(off)「このドレッサー……まったく、子供のものとは思えないね……それに、このサイドテーブル……」
59	ベッドを二度ばかり押す。セーラの父母の写真　床に落ちる		バロー「それにこのベッド……」
60	バローの足許に落ちる写真 それをまたいで行くバローの足 ー間ー 手がのびて拾い上げる		
61	拾いあげた写真を見るセーラ		

	左を見て　はっ！　と立上って手前へ		
62	ドアの方へ行くバローミンチンがついて		ボナパルト「セーラ　セーラ」
63	はっとなり居屋の方を見るセーラ		バロー「ではミンチンさん……〜家具類は明日引取りに来させますから、それまで一切、手を触れんように願いますぞ」
65	一歩前に出て　何か云おうとするミンチン		ミンチン「あ、あの、バローさん」
66	立上り、ふり返るバロー　途中からドアに向いながら		バロー「あっ、勿論御承知と思いますが、カーテンやジュータンも含みますからね」
67	口惜しそうに立ちつくすミンチン　セーラ　追ってくる		セーラ「ま、まって下さい！」
68	バロー　ふり返って		バロー「ああ、それから、セーラ、忘れんようにな……今日からは、ここの物は〜一切、お前の物ではなくなったんだか
69	出て行くバロー		

	ミンチンも続く		らね……　では、ミンチンさん、行きますかな」
70	茫然とドアの前に立つセーラ 駆け出すセーラ		ボナパルト（遠去かる声）「セーラ…………」 ボナパルトの遠くの声「セーラ…………」
71	廊下　ドア開けてとび出してくるセーラ　立止る		
72	去って行くボナパルトたち		ボナパルト「セーラ………… 〜
73	立尽すセーラ　T・U 溢れてくる涙		(off)　セーラ」
74	地下作業場　驚くピーター		ピーター「なんだって?!　じゃ、セーラお嬢様は……」
75	ベッキー　泣きながら頷く		
76	顔上げて		ベッキー「お嬢様は……お嬢様は、この学校を追い出されてしまうかも…… 〜 あんなに優しいお嬢様が、そんな事に
77			

	又、顔に手をやり泣き出すベッキー		なったら、私、お気の毒で、お気の毒で……」
78	茫然としているピーター　伏せていた顔上げて		ピーター「セーラお嬢様が……」
79	院長室		バロー「ほほう、あの娘を追い出そうと」 ミンチン「当然です」
80A	身をのり出すミンチン		ミンチン「他にどんな方法があると云うんです！」
80B	わざとゆっくり　首をひねってみせるバロー		バロー「フーム……　しかし……」
80C	セーラの部屋　かなしみにたえるセーラ T・U		バローの声(off)「私の知る限り、あの娘には身寄りもなし、さしずめ、あなたが引取る以外にありませんぞ」 ミンチンの声(off)「まっぴらです！　あなたは、自分の損害だけ穴埋めして、あの厄介者を私に押しつける気ですか」
81	院長室　バローにやって		バロー「ふむ……私なら、追い出すなんて、マズい事は致しませんね」

82	バロー　とぼけて		ミンチン「まずいですって？」 バロー「左様、父親が破産して死んだ 〜一文なしのみなし子をですな 〜追い出したなんて噂が立ったら、この学校の評判は 〜ガタ落ちですぞ」 ミンチン「そ、そんな……」
83	ミンチン　イライラ		
84	バロー　ちょっとオーバーに		
85	たじろぐミンチン		
86	バロー　にやにやと		バロー「悪い事は云わん。あの娘を置いてやって、働かせた方が得ですぞ。利巧な子のようだし、いまに 〜元ぐらい取れるでしょう」 ミンチン「まあ、あなたに、よくそんな口が…」
87	テーブル　机に体をのり出すミンチン		
88	にらみ合うバロー（除々に口許に笑いが……）		
89	笑いのリアクション		ミンチン「！」

90	にらみ合う二人		
91	見つめるミンチン		
92	パロー　ニヤリとして立上る		パロー「おっと、もう一つ、大事な物を引取るのを忘れるところでしたよ。あなたもなかなか抜け目の 〜
93	鳥籠を持って　出口に向うパロー		ない方だ。うまくしてやられる所でしたよ。 〜
94	立上るが、その儘、茫然と見送るミンチン		(off)　では失礼………」
95	閉るドア		
96	馬小屋　ピーター　ジャンプに		ピーター「ジャンプ！……お嬢様が、お嬢様が大変な事になっちまったんだよ…… 〜
97	話しかけている		一体、ぼくとお前は、どうすればいいんだよ」
98	裏庭　鳥籠を持って歩くパロー		

	の足	
99	突然いななくジャンプ 暴れはじめるジャンプ なだめようとするピーター はッ！ とふり返るピーター （暗→明）ーカゲいどうー	ジャンプ「ンゴーッ ンゴーッ（いななき）」 ピーター「どうした ジャンプ！」 S・E （扉のひらく音）
100	鳥篭を持ったバロー 入口に立っている 一歩中へ入る	
101	バロー 冷たく	バロー 「おい、その小馬と馬車を表へ出し給え」
102	ピーター "?!"	ピーター「え?!……でも、ジャンプはお嬢様の…」
103	バロー おどかすように	バロー 「いいから、云う通りにするんだ！」
104	しずんでいるセーラ	ジャンプ「遠くのいななき」 〜
105	はっ！ と顔をあげ 立上り 窓辺に走り寄る	

106	鳥籠を座席に乗せ馭者台に乗りこむバロー　止めようとするピーター　いななき、落着かないジャンプ		ピーター「ま、待って下さい。ジャンプはお嬢様の馬です。返して下さい！」
107	バローの腕をつかむピーター　激しく手綱を振う　はねとばされるピーター　走りはじめる馬車		バロー「うるさい！……この小馬も馬車も、今日から私の物だ。お前はクビにしたんだ、消えろ！」
108	地面にひっくり返るピーター　すぐ、はね起き後を追う		
109	門を出て行く馬車　追って出るピーター　転ぶピーター		
110	体を起し見送るピーター		ピーター「ジャンプ……！」
111	窓から身体をのり出して見下ろしているセーラ（人形をだいている）		
112	遠去かる馬車		
113	見送るセーラの眼に涙		セーラ「ジャンプ……」

150	院長室　柳眉逆立てきつい目付をしているミンチン、口許がゆがむと同時、さっと振り返る		
151	激しの裾をゆるがして、テーブルをこぶしで強くうち、口惜しい顔		
152	ランプシェードに映る、ゆがむミンチンの顔 扉、勢良くあき、いかり顔のアメリア入って来る。ミンチンを認めて手前に来る 映ったミンチンおき上り、手をにぎりしめ		アメリア「お姉様!!　セーラさんの持物まで押えるなんて。バローさんもなんてひどい事を……」 ミンチン「アメリア…あの家具は、もっと早く私たちが押えるべきでしたよ」
153	キョトンとなるアメリア		アメリア「え?!」
154	顔をあげていくミンチン		ミンチン「……そうすれば、この学校が受けた損失を少しでも取り戻せたのです」
155	口惜しそうにくちびるをかみ、		アメリア「そんな…お姉様までセーラさんの…」

	手を机について前にのり出すアメリア		
156	キッとなって振り返る		ミンチン「あの子を、さんづけで呼ぶことは許しません！」
157	シェードに映るアメリア、緊張して返事する　手、ぴんとなる		アメリア「は、はいお姉様…」
158	一F　院長室で、ミンチンとアメリア		ミンチン「アメリア…、昔生徒が置いていった服がありましたね。その中から一番ボロの服と靴を探しておいで」
159	オズオズと顔をあげるアメリア いらいらとなって		アメリア「あ、あのォ……」 ミンチン「まだ判らないの?!　あの娘は…
160	人形を抱いて悄然と立っている セーラ		ミンチン off「私が誕生祝いに買ってやった高い服を、まだずうずうしく着てるんですよー!!」
161	うなだれ、考えつづけるセーラ		

T・U（ゆっくり）
目をつむり、うつむくセーラ

＜前半，おわり＞

161B	院長室前の廊下　ジェームズに羽交いじめにされたピーター暴れる		ジェームズ「この野郎…!!　一体どこへ入り込もうって気だ！」
162	もがくピーターをとり押えようとするジェームズ 院長室のドアが開きミンチン出てくる		ピーター「は、はなしてくれよ！　このままじゃ、お嬢様が……」
163	慌てて手をゆるめた瞬間、ピーター脱け出す あわてて後を追うジェームズ		ジェームズ「あ、院長先生！」 ジェームズ「あっ！」
164	脱兎の如く階段を駆け上るピーター　ジェームズ昇りかける 止るジェームズ　振り返る A・C		ミンチン「ジェームズ！」
165	振り返るジェームズ ミンチン階段を昇って来る。止まらず、ジェームズを見ず、昇っていく。見送るジェームズ		ミンチン「……一緒に来なさい」 ジェームズ「は…はい。院長先生!!」

166	勢良く扉ひらき、入ってくるピーター。急いでしめる前を見てはっとなる		
167	オドロイて顔を上げるセーラ		
168	165同P　バッが悪そうに顔を伏せ、あわてて帽子をとり目礼するが、きっと肩をつり上げて		ピーター「あ…お嬢様ー!! ……ジャンプだ……ジャンプを……
169	セーラに近づくピーター		バローさんが」
170	悲し気にうなづくセーラ		
171	みつめるピーター		
172	やおら顔を上げ、微笑をうかべて		セーラ「有難う、ピーター……今までジャンプをとても可愛がってくれたことを感謝しているわ」
173	うつむき加減で困惑の態		ピーター「そ、そんな……」 セーラ off「それから私のために、

			とてもよくつくして下さった事にも……」
174	ピーター首を左右に強く振り		ピーター「な、なにを仰言ゃるんです。 ぼくの事なんてどうだっていいんです。 それよりお嬢様の事が心配で……」
175	一歩前へ出るピーター		
176	くちびるに笑みを浮べて		セーラ「ピーター……あなたの気持は嬉しい けど、
177	ハッとなるピーター		(off) もうお別れしなければならないのよ」 ピーター「えッ!!」
178	くちびるをかみ、エミリーも強 く抱く 力なく背を向けるセーラ		セーラ「私…私、もうこの学校にはいられな くなったの……」
	A・C		
179	背を見せているセーラ		
180	セーラを見ていたが、くちびる をふるわし、うなだれていく、 帽子を強く握りしめ…		
181	石炭くずれ、一瞬火が強く上る		

182	無言の二人		S・E（扉の開く音）
183	それに気づいてピーターもふり返る。居間の入口に立っているミンチン		
184	そしてジェームズも入ってくる		
185	怯えるピーター		ピーター「院長先生……」 ミンチンoff「ピーター……
186	前にのり出すミンチン		誰にことわって、こんな所まで……」
187	ピーター、オズオズと		ピーター「お願いです院長先生……お嬢様をこの学校から追い出したりしないで下さい……」
188	きっとなってにらみつけ ピーターを引きづり出そうとするジェームズ		ミンチン「ピーター、お前はもうセーラの馭者ではないんです！ ジェームス追い出しなさい！」 ジェームズ「はい、院長先生……さ、お前はもうクビなんだよ。グズグズ云わずに出ていくんだ！」

			ピーター「な、なにするんだよ……お嬢様…」
189	思わず歩み来るセーラ		セーラ「ピーター！……」
190	ジュータンにがんばる足ー引きずられる		
191	ジェームズに引かれいくピーター　ジェームズにつかまれた手をはらいのけて柱をつかむピーターの手		ピーター「オジョーさま!!」 ～
192	懸命に引きずろうとするジェームズ。手が柱をつかんではなれない		
193	前へ出るセーラを身をもって阻止するミンチン はっとなって止るセーラ		
194	にらみつけるミンチン はっとなって振り向くミンチン		ピーター(off)「おじょうさま——!!」

195	ミンチン手をはね上げる 引かれていくピーター		
196	はっとなるセーラ　茫然とみつめる　くちびるをかみしめ、こらえる		ピーターoff「おじょうさま――!!」
197	ミンチンの後姿　廊下を見つめ立つ　セーラの方を見る ゆがむ口許（満足のいったときの笑み）		ミンチン「お前に云ってきかせたいことがあります…… 院長室に来るように……」
198	ミンチンを見つめるセーラ キッとスカートをつまみ、身をひるがえして出ていくミンチン じっと見送ったセーラ　T・U 悲しみに耐えてエミリーに話しかける		セーラ「……は……はい院長先生!!」 セーラ「……判って?　エミリー…私たち、ここを出て行かなければならないのよ」
199	振り返り、部屋を見回すセーラ		
200	安楽椅子		セーラoff「あなたがいつも坐っていてくれたこ

			の椅子も、もう私たちのものではないのよ」
201	テーブルの上にエミリーを置き帽子をとって脇に置く		
202	傍に用意してあった黒いリボンをエミリーの首にかけ、帽子をかぶせる		セーラ「さ、なくなったお父様のために、このリボンを着けて出て行きましょうね」
203	自分も同じ黒リボンを首にかける		
204	ドアを開け、廊下へ出て来るセーラ		
205	階段を降りるセーラ		
206	三階↓二階		
207	三↓二階↓一階　ラヴィニアたち部屋から出てくる		

208	見下すラヴィニアたち ラヴィニア下へ降りはじめる		
209	院長室の前へ来たセーラ、ため らったがノックする セーラ、そっと入る		ミンチンの声「お入り…」
210	入るセーラ		
211	ふり返るミンチン　ジロリと足 もとから頭の先まで見上げる		
212	おびえるセーラ		
213	ピリピリと動く眉毛		ミンチン「あきれた……一体なんのつもりで人 形なんか抱いて来たんです」
214	哀願するように…		セーラ「お願いです。エミリーだけは取り上 げないで下さい。一緒に連れて行かせ て下さい」
215	皮肉っぽく		ミンチン「連れていくって何処へです」

216	セーラ首垂れる		セーラ「……判りません……でも、院長先生が、この学校を出て行くように仰言いましたから……」
217	ミンチン皮肉っぽく		ミンチン「フーッ（溜息）…世間知らずな！… (off) お前ぐらいの娘が、このロンドンで一人で生きて行けるとでも思っているの？」
218	うなだれるセーラ		
219	ドアの外で立ち聞きしているラヴィニアたち 思はず伸び上がるラヴィニア		セーラ「……」 ミンチン「お前はね……」 ミンチン(off)「この学校に置いてやる事にしたのです」 ラヴィニアたち「えっ!!」
220	愕然としているセーラ		セーラ「え……?!」 ミンチン(off)「なにをびっくりしているんです！」 セーラ「では、ほんとにここに置いて下さるんですか?!」
221			ミンチン「お前はね、この世の中で、ひとりぼっちのみなし子なんですよ。お情けでここにでも置いてやらなければ……」

	セーラの顔、パッと明るくなる		(off) 誰が助けると云うんです」 セーラ「あ、有難うございます…院長先生！」
223			ミンチン「但し、お前には、この学校の為に働いて貰います」
225			セーラ「はい、院長先生。ここに置いて下さるなら私、どんな事でも致します」
226	ゆっくりと歩くミンチン キッとなって止まるミンチン		ミンチン「そう……」 セーラ「はい、私、ロッティたちになら、フランス語を教えられると思います。ロッティたちも私になついてますから」 ミンチン「おだまりなさい！……」
227	ギュッとスカートがにぎられていく		
228	ミンチン、ヒステリックに		ミンチン「生意気云うのはおやめ！」
229	ビクッとなるセーラ		ミンチン(off)「お前は明日から台所で働くのです ベッキーと同じようにね」
230	ほくそ笑むラヴィニア		
231	ミンチン語調を強く！		ミンチン「置いてもらえるなら、どんな事でも

			すると云った筈です。私に礼を云うべきです」
232A	セーラ弱々しく		セーラ「あ…ありがとうございます…院長先生……!!」
232B	じっと見つめるミンチン口許が笑いでゆがむ かがみこむミンチン		ミンチン「よろしい……」
233	はっと顔上げるセーラ		ミンチン off「さ、私が買った服と靴を脱いで!……
234	服、靴の順に前へほうり投げる		この服と靴にかえるんです」
235	セーラの足元に転ってくるボロ靴		
236	茫然と見るセーラ		
237	床に転っているボロ服、靴		ミンチンの声「昔、お金が払えなくなって、この学校を追い出された
238			生徒が捨てて行ったものです。……今

			のお前には
239			一番似合う筈ですよ」
240	顔上げてミンチンを凝然と見るセーラ		
241	廊下、生徒たちささやきあっている		S・E（カチャ——ッ!!）
242	ドアの方を見るラヴィニアたち		
243	注視するアーメンガード、ロッティたち		
244	見る一同		
245	注視の中　ゆっくり開いたドアの蔭から、そっと姿を現わしかけるセーラ（はじめエミリーのみ見えている）		
246	愕然とするアーメンガードたち		

No.	画面		台詞
	顔を見合わせる		ロッティ「セーラママー……」
247	出て来たセーラ カット尻で顔上げる		（一同のどよめき） 〜
248	じっと見ている一同		
249	再び顔伏せる		
250	出て来るミンチン		
251	生徒たち、正面に注目		
252	ミンチン一同を眺め回し		ミンチン「セーラ・クルーは、この学校で引取ってやることにしました」
253	顔見合わせる		一　同「（どよめく）」
254	ミンチン		ミンチン「但し、台所で働くメイドとしてです。 off 皆さんも、そのつもりで」
255	心配そうなアーメンガード		一　同「（どよめき）」

256	セーラを押しやるミンチン 歩きはじめるセーラ		ミンチン「さあ、お前は部屋へ行くんです！」
257	生徒たち、道を空ける。中を階段に向うセーラ		
258	見送ってドアに消えるミンチン		
259	セーラの後から　皆一斉について行く		
260	二階↓三階　後からついてくる一同		
261	二↓三階　途中のおどり場の窓にさす夕日		
262	スモックの赤い空　鳥が行く		
263	三階へ昇って来て廊下で、はたと立ち止まるセーラ		
264	セーラの部屋の鍵をしめている		

	アメリア　ガチャガチャと、しまったのを確認している時、はっセーラに気付くうろたえて弁解するアメリア		アメリア「セ、セーラさん……院長先生のお云いつけで、あなたはもうこのお部屋には入れないのよ」
265	セーラ見返して微かにうなづく		
266	アメリア奥の扉を指し		アメリア「あなたのお部屋は、あの階段を上った、ベッキーの隣りの屋根裏部屋になったのよ」
267	軽く会釈して進みはじめるセーラ		セーラ「……知っています、アメリア先生」
268	扉に向かうセーラ・見つめているアメリア		
269	ゆっくりとあゆむセーラを後で見つめているアメリア		
270	歩く足　FOLLOW　止る		

271	見上げるセーラ　うつむいて…いく		
272	立ち止まっているセーラ T・B		
273	じっと見つめ立つアメリア 何か淋しそうである		
274	かすかにゆれている裾 PAN-UP オエッしているのか震える肩		
275	扉を見つめていたが、エミリーを強く抱きしめてホホをすりよせる　震えている		
276	上を見上げる生徒たち		
277	上を見上げている一同 前へ出る（昇）　アーメンガード抱きついて止める		ロッティ「セーラママ！」
278	ラヴィニアとジェシー顔を見合		

	わす		
279	懸命にアーメンガードの手をはなれようとしているロッティ 泣いてロッティを止めているアーメンガード		ロッティ「セーラママ、ママ……」 アーメンガード「だめ……やめるの…ロッティ……泣かないで……」 ロッティ「セーラママ……!!」
280	力なく振り返るセーラ		
290	振り返るセーラ　じっとアメリアを見つめていたが。軽く会釈して背を見せる		
291	はっとなって前へ出る		
291	重いとびらを開けるセーラ		
292	扉あけられて行く 見上げるセーラ		
293	暗いかいだん		

294	淋しげな表情のセーラ　前へ出る		
295	入っていく足　扉しめられる		S・E（ギー――バタン！） （大きい音でありません。印象的に心にひびく様にということ！）
296	はっとなって、手を握りしめ、うなだれていくアメリア		
297	廊下の奥		
298	上を見上げている一同 顔を見合わす		
299	T・U ラヴィニア　得意気な微笑		ラヴィニア「どう……これでもあなたたち、セーラのお友達なんかでいられる？」 ジェシー「そんな……私、前からセーラのお友達なんかじゃないわ」 ガートルード「そうよラビニア……私たちずっとセーラより、あなたの味方だったんですもの。ねェ」

302	ゆっくりと昇っていく足 せまい		
303	せまい階段をのぼっていく セーラゆっくりと……		
304	壁にエミリーの頭があたる FOLLOW↓　エミリーを中 の方へかかえる		
305	昇り切り右左を見ているセーラ		
306	あたりを見まわしながら自分の 部屋へ（まだよく勝手が判らな い）		
307	部屋のドアを、ちょっとためら ってから開けて入る		
308	扉開けられていく。くもの巣が 切れ…オドロク、セーラ		
309	入って来て見回すセーラ		

310	クモの巣がはり、ホコリのつもった部屋		
311	部屋のガラクタの山		
312	前へ出る足、ほこりが立つ		
313	おそるおそる歩き、ながめ回して　箱すわる		
314	不安な面持で天井を見上げる		
315	天窓　外は夕方の空 天井から下る糸がゆれている		
316	灯ついていない　暗い部屋にポツンとセーラ		
317	セーラ　じっとたえている F・O		

（おわり）